

# いわせ和子議会質問

一部抜粋構成

あなたに代わって質問します。暮らしの疑問、地域の困りごとをお知らせください。

## 平成23年6月定例会

町田市一般廃棄物資源化基本計画について

質問 環境学習や普及啓発活動の今後の取り組みは。

(答弁) 環境資源部長 小学校の出席講座「ハチドリ教室」について、充実した取り組みを行っていききたい。

(答弁) 学校教育部長 地球温暖化、ごみ問題について積極的に取り組んで学校を支援していきたい。



要望 「春休み親子エコクッキング」等と称し、親子でごみを出さないための料理教室の実施を！

○東日本大震災をうけて

F・M町田(仮称)の開局について 要望 商店会の地域活性化、スポーツイベントの開催、高校野球の実況中継、更には災害情報、危機管理情報など情報発信には欠かせないものである。F・M町田(仮称)が開局できることを強く望む。

町田市の保育事業体制について 質問 市は、夏季の電力需給対策に伴う勤務先のサマータム等の導入についてアンケートを実施したが、その結果を踏まえどのような体制をとるのか。

(答弁) 子ども生活部長 一定程度の需要があると考えられる。職員の確保、予算上の問題も出てくる。ニーズ調査の結果等も含め、状況を把握、分析、対応を検討していきたい。

学校のプール開きに対する放射線物資等の安全性について 質問 プールに放射能が溜まっている危険性がある。小中学校のプールの授業は例年どおり実施するのか？

(答弁) 学校教育部長 プール清掃は、業者が清掃を行っている。都が測定している水道水の放射性物質の測定結果及び雨やちりなどの降下物の測定結果がすべて安全基準内である。通常どおりプール指導を実施する。

要望 将来の子どもたちの健康を守るためにも、放射線量の測定の積極的な取り組みを！

○真光寺川を守るために

質問 調整池ができて約20年。土砂や落ち葉などが堆積し、池の底はヘドロ化している。真光寺川を守るために市はどのような取り組みをしているのか。

(答弁) 環境資源部長 上下水道部や河川管理者である東京都などと連携をとり、原因調査と簡易水質検査などを行っている。水質汚濁防止法に基づき、継続的な水質監視を行っている。

質問 広袴公園の調整池の清掃を。また池を綺麗にするために浄化装置の設置や、わき水を流入する等の対策をとってはどうか？

(答弁) 上下水道部長 日常的な管理として清掃や物除去などを実施。今年度は、更に水の流れをよくするために堆積している土砂等の一部について取り除く作業を9月末迄に行う予定。調整池の機能を損なわない範囲で、対策を研究する。

質問 真光寺川の上流地域は、市街地調整区域で、生活排水の未整備のところがある。このような地域の整備に対する市の考えは？



(答弁) 上下水道部長 市街地調整区域の汚水処理については、今後検討していく。

要望 市民一人一人への意識啓発川をきれいにしようという市民の意識を高め、市民と行政、協働の取り組みが最も重要。今後、東京都と町田市の上下水道部、環境資源部、そして市民と合同で会議を行い、役割分担を行いしっかりと対応を要望する。

## 平成23年9月定例会

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)の予防接種について

質問 ムンプスワクチンの定期接種化していないところは、先進国では日本だけ。おたふくかぜを予防するワクチンの公費助成について町田市の考えは。

(答弁) 地域保健担当部長 国の動向を踏まえて対応を研究していく。

質問 冊子の「予防接種と子どもの健康」は、一回の配布でなく常に新しい情報提供を！

(答弁) 地域保健担当部長 情報提供は非常に重要。周知方法については、乳幼児の健診の時とかきめ細かな方法を考えていく。

要望 お母さん達の予防接種の知識を高め、認知度を上げることで接種率が向上し、小児2次救急の支援、そして医療費の削減にもつながる。

○こどもの国線延伸と鶴川駅南側の街づくりについて 質問 こどもの国線延伸と鶴川駅南側の街づくりについて現状と課題は。

(答弁) 副市長 国、都及び市の関連する方針や計画においても延伸については示されておらず、進展が見込まれる状況にはない。鶴川駅南側の町づくりの課題は、駅前としての役割に対する地域の期待と現在お住まいの方々の生活の場としての機能増進の2つがある。

質問 こどもの国線が延伸することのメリットは、①都心へのアクセスの強化②野津田競技場への利便性の向上③自動車交通から公共交通への転換④道路交通の渋滞の緩和⑤小田急電鉄の急行が停車する可能性。などと考えられる。今後整備を進めていく中で、こどもの国延伸というテーマは避けられない問題ではないか、市の考えは。

(答弁) 開発調整担当部長 駅南側の町づくりの検討と並行してその進展を注視していく。

質問 意見交換会の中で、「市街地整備案のたたき台を出してもいい」、住民意見では限界がある。コンサルタント等の専門家の支援を受けたい」と要望が出たが、市の考えは。

(答弁) 開発調整担当部長 今後は、将来の町づくりのビジョンを作成する段階。この時期からコンサルタントを入れることにより、専門家による検討を進めることができる。結果的にいのかどうか思案している。

質問 意見交換会後の今後の展開は。三輪方面から南口へのバスの流入、鶴川駅と青葉台駅を結ぶバスルート等、三輪地域に住民の方たちの利便性も視野に入れなければならない。三輪地域などの地区外の意見を今後どのように取り入れていくのか？

(答弁) 開発調整担当部長 地区外からの意見については、市街地整備の課題等が地権者やお住まいの方々と整理がされ、一定の方向性が見えてきた段階で聞いていく。

質問 小田急電鉄と川崎市との今後の連携は。

(答弁) 開発調整担当部長 一般道路の取り付けに関しては、必要があれば、町田市の市街地整備に合わせた整備をするよう川崎市へ働きかける。小田急電鉄については、地域の考え方が、まとまった時点を目途とし、市街地整備に向けた意見交換や調整をしていきたい。

質問 今後の展望と展開は。

## 平成23年12月定例会

スポーツ祭東京2013東京国体に向けて

質問 町田市を全国に発信する手段の一つとして記念切手を作成してはどうか？

(答弁) 副市長 経費の問題、販売方法など、今後郵便局と十分協議していく。

質問 フレーム切手の作成、風景印の作成、料金後納表示方法の利用を。

(答弁) 文化スポーツ振興部長 郵便局に協力をいただきながら協議を進めたい。

質問 青少年団体との係りは？

(答弁) 文化スポーツ振興部長 国体推進課と共に青少年の皆様にもPRに努めていく。また東京都が中心となりゆりーとダンスのDVDの作成を進めている。

要望 「おもてなしの心」をしっかりと持った取り組みを要望する。

○新庁舎開庁に向けて 質問 平成19年9月定例会で、「町田市でもパスポートの申請を」と質問をしている。その後の調査内容は。

(答弁) 副市長 東京都から旅券発給事務を再委託された場合、市町村においても旅券発給事務の一部を行うことは可能。ただし、新宿池袋、有楽町、立川にある東京都のパスポートセンターを町田市民が利用できるなくなる。再委託を要とする。更に研究を進めていく。

質問 週1回市の申請だけでも行える出張の窓口を設置してはどうか。

(答弁) 開発調整担当部長 駅の南側における課題を解決するために、市だけで進めるのではなく、検討会を発足し、市と協働で問題点を整理しながら、市街地整備の方向性、ビジョンを見出ししていく。

要望 現在抱えている生活環境整備、狭い道路の問題等、各家庭の個々の諸問題も状況把握しながら、市政と協働のもと取り組んで欲しい。

質問 飼いの犬の糞の放置に対する市の取り組み、今後の課題は？

(答弁) 地域保健担当部長 飼いのマナー向上に努めている。今後も適正飼育の啓発に向けての施策を推進し、飼いの意識とモラルの向上を図っていく。

質問 糞の放置に対し罰則規定を設けては？

(答弁) 地域保健担当部長 指定の基準や手続きなどの点から難しい。地域の取り組みを支援するなどのモデル地区の指定。地域主導型の仕組みづくりについては研究していく。

○スズメバチの巣の駆除について 質問 町田市でもスズメバチの巣の駆除を。

(答弁) 環境資源部長 スズメバチ等ハチの駆除は、土地、建物の所有者や管理者の責任において対応するものと考えている。町田市では職員による駆除は考えていない。要望 市民サービスのひとつとして実施することを望む。



いわせ和子は、これからも皆様の声を市政に届け、更に暮らし易い町田のために一生懸命頑張ります。

